

平成20年度事業報告

(財)日本バスケットボール協会
平成21年6月23日

事業報告

1. 技術の調査研究	
●強化本部会	P. 1
(1) 選手強化	
①男子強化	P. 1～2
②女子強化	P. 3～8
(2) エンデバー	P. 5～7
(3) ナショナルトレーニングセンター	P. 7～8
(4) 医科学研究	P. 8～9
(5) コーチコミッティー	P. 9
2. 競技会の開催	
(1) 国内競技会	P. 10～18
(2) 国体部	P. 18～19
(3) 日本スポーツマスターズ大会	P. 19～20
3. 国際競技会の開催及び代表チームの派遣	
(1) 国際（国内開催）	P. 20～21
(2) 国際（国外開催）	P. 21～23
4. 国際関係	P. 23
5. 講習会及び指導者養成	
(1) 公認スポーツ指導者養成	P. 24
(2) 規則・審判事業	P. 24～27
(3) 公認審判審査	P. 28
6. 施設、用具の認定	P. 28
7. 総務	P. 28～29
8. 広報	P. 30～31
9. 普及	P. 31～37
10. 企画（企画）	P. 37～38
11. 企画（事業）	P. 38～39

1. 技術の調査研究

●強化本部会

新体制発足後、‘日本の強化‘構築のため、「強化本部」の機能として、男子強化部、女子強化部、育成部を配置し、専務理事自らが強化本部長として指揮を執る新たな体制でスタートした。

GO FOR OLYMPIC!

まず、選手、スタッフのみならず、日本のバスケットボール関係者全体が「オリンピックへ出る！」と云う強い意志を持って望むようスローガンを掲げた。

具体的指針として、強い日本代表チームを作り上げるべく、男女代表チームヘッドコーチの専任制をとり男子：デビットA. ホップス氏 女子：中川文一氏の就任を決定した。

また、強化本部会議を月1回、男女強化委員会等を適宜、開催し、具体的諸施策の実現に向け活動し、平成21年度以降の中期長期計画作成への準備に入った。

開催日	
9月18日(木)	第1回 強化本部会議
10月10日(金)	第2回 強化本部会議
10月27日(月)	第3回 強化本部会議
11月26日(水)	第4回 強化本部会議
12月8日(月)	第5回 強化本部会議
1月11日(日)	第6回 強化本部会議
2月10日(火)	第7回 強化本部会議
3月6日(金)	第8回 強化本部会議

(1)選手強化

①男子強化

平成20年度は、日本代表チーム強化としての実質的活動は実施できなかったが、新体制発足後、男子強化委員会を中心に、翌年度の強化活動への準備に取りかかり、「GO FOR OLYMPIC」を合言葉とし「強い日本代表チーム」を作り上げるべく、強化本部の方針に基づき、専任ヘッドコーチ(デビット Aホップス氏)の決定などを行った。また、これまでのチーム強化から「個の強化」も視野に入れ、年度末には「育成強化キャンプ」を実施し、大学生・高校生を中心とした次の日本代表選手となりうる、選手の強化活動を実施した。

アンダーカテゴリーでは、U-18 がアジア選手権4位と惜しくも世界選手権出場の切符を逃したものの、FIBA-ASIAからも健闘を賞賛頂いた。U-16 では、翌年度初めて開催される「U-16FIBA-ASIA バスケットボール選手権」に向けて、U-15 カテゴリー編成にて、初めて海外遠征(ドイツ)を実施し強化活動を行った。

男子強化としては、翌年度に向け新たな日本代表ヘッドコーチの体制の下、まずはアジアで勝つことをモットーにして積極的な強化活動を行ってゆくことと、今年度実施した育成強化をさらに充実させるために、育成部との連携をさらに強化して、一貫した強化体制の構築し取り組んでゆく。

1. フル代表/ユニバーシアード代表

- ※ 強化活動の実施は無く、翌年度に向け専任ヘッドコーチ(デビット Aホップス氏)を決定
- ※ 日本代表カテゴリーを「フル代表」(トップ代表)と「ユニバーシアード代表」(セカンド代表)と1つのカテゴリーとし、若手の日本代表育成に積極的に取り組んでゆく
- ※ 平成21年度は、フル代表は東アジア地区予選(東アジア選手権)とFIBA-ASIA 選手権(世界選手権アジア予選)への参加、ユニバーシアード代表はユニバーシアード競技大会(セルビア)

2. U-18 代表

期間	活動内容	場所	
4/18～4/20	第1次強化合宿	NTC	東京都北区
6/27～6/30	第2次強化合宿	NTC	東京都北区
8/21～8/25	第3次強化合宿	NTC	東京都北区
8/26～9/8	第20回FIBAアジアU-18男子選手権		

※ 決勝トーナメントに進出したが、4位で終了しU-19世界選手権への出場権を獲得することができなかった。

3. U-16 代表

期間	活動内容	場所	
12/27～12/29	第1次強化合宿	NTC	東京都北区
1/5～1/12	第2次強化合宿(海外遠征)	ドイツ	ケムニッツ
2/27～3/1	第3次強化合宿	NTC	東京都北区
3/13～3/15	第4次強化合宿	NTC	東京都北区

※ 翌年度(平成21年度)11月に開催される「U-16FIBAアジア選手権」に向けての強化活動を行った

※ FIBAとして正式にU-16のカテゴリーが定められ、今年度(平成20年度)は翌年度(平成21年度)に向けた強化のため「U-15以下」の選手構成で強化を行った

3. アジアビーチゲームズ

期間	活動内容	場所	
10/24～10/26	第1回アジアビーチゲームズ(3on3)	インドネシア	バリ

※ 第1回大会であり、U-18男子強化委員会にて「福岡第一高校」のメンバーにて参加をしたが、3on3の競技スタイルになれず、大会成績としては最下位であった。今後、FIBAを中心に、ビーチゲーム(3on3)として、大会等が実施されてゆく中で、今後ビーチゲーム(3on3)への取り組みや派遣(選手選考なども含め)への対応を検討する

4. オーストラリア ユースオリンピックフェスティバル 2009

期間	活動内容	場所	
1/14～1/18	オーストラリア ユースオリンピックフェスティバル 2009	オーストラリア	シドニー

※ 急遽、参加を決定し、U-16の海外遠征帰国後そのままオーストラリアへ移動し、大会へ参加した。チームとしての強化練習をせずに戦ったため、試合前半はチームとして戦うことができなかったが、後半は徐々にチームとして戦いを行うことができたが、最下位に終わった。

5. 男子強化委員会開催

開催日	場所
11/10	岸記念体育館 505号
12/15	JBL 会議室
12/22	日本青年館 会議室
1/5	代々木体育館 会議室
1/19	岸記念体育館 101号
3/9	岸記念体育館 101号

②女子強化

フル代表は内海知秀氏をヘッドコーチとし、「北京オリンピック出場」を大命題として強化活動を実施。

国内での強化合宿、海外遠征等の強化活動を行った。終盤の国内での調整としてリトアニア代表を招いて壮行イベントを行い、多くのファンや関係者から励ましをいただいた。

本大会である世界最終予選では、予選リーグを勝ち抜き順位決定トーナメントに駒を進めたものの、キューバに敗れて北京オリンピック出場権獲得はならなかった。

平成21年度以降の強化として、ロンドンオリンピック出場を目標に掲げ、専任ヘッドコーチに中川文一氏を招聘して新体制を構築した。新ヘッドコーチの下、Wリーグの終了を待って3月末に選考合宿を行った。

アンダーカテゴリーでは、U-18 代表がFIBA アジア選手権に出場、順当に勝ち上がり、準決勝でチャイニーズ・タイペイを下して早々に世界選手権の出場権を獲得、次の決勝では中国の牙城を崩し、この大会での初優勝を飾った。近年このカテゴリーでは高いバスケットボールセンスと運動能力を持った選手が多数輩出され、今後の成長が待たれるところである。

「GO FOR OLYMPIC」を合言葉とするJBAとして、一貫強化体制の確立など、山積する課題に早急に取り組まなければならない。

◆フル代表

期間	活動内容	場所
4/1(火)～4/10(木)	第1次強化合宿	NTC 東京都北区
4/14(月)～4/20(日)	第2次強化合宿	NTC 東京都北区
4/24(木)～4/29(火)	第3次強化合宿	NTC 東京都北区
4/30(水)～5/9(金)	第4次強化合宿(海外遠征)	リトアニア
5/13(火)～5/17(土)	第5次強化合宿	NTC 東京都北区
5/18(日)	世界予選 壮行イベント vs リトアニア代表	代々木第2体育館 東京都渋谷区
5/23(金)～6/8(日)	第6次強化合宿(海外遠征)	スペイン国内
6/9(月)～6/15(日)	FIBA 女子オリンピック世界最終予選	スペイン マドリード
3/23(月)～3/28(土)	H21 年度代表候補選考合宿	NTC 東京都北区

※FIBA 女子オリンピック世界最終予選は、準決勝で敗退、北京オリンピック出場はならなかった。

この後出場予定であった、FIBA ダイヤモンドボール(8/2～5)及びジョーンズカップ(7/20～25)は不参加

◆U-22 代表

期間	活動内容	場所
2/20(金)～2/22(日)	第1次強化合宿	NTC 東京都北区
3/27(日)～3/29(日)	第2次強化合宿	NTC 東京都北区

※本年は、2009年に開催されるユニバーシアード大会に向けての強化期間として活動を行った。

★ユニバーシアード競技大会 2009/7/1～12 セルビア・ベオグラードで開催予定

◆U-18 代表

期間	活動内容	場所
5/12(月)～5/14(水)	第1次強化合宿	デンソー体育館 愛知県刈谷市
8/23(土)～8/24(日)	第2次強化合宿	NTC 東京都北区
8/25(月)～8/31(日)	第3次強化合宿(海外遠征)	オーストラリア メルボルン
9/13(土)～9/15(月)	第4次強化合宿	アイシンAW体育館 愛知県安城市
10/11(土)～10/13(月)	第5次強化合宿	NTC 東京都北区
10/25(土)～10/29(水)	第6次強化合宿	NTC 東京都北区
11/2(日)～11/9(日)	第19回FIBAアジア U-18女子選手権	インドネシア メダン

※FIBA アジア U-18 女子選手権では、初優勝を飾り、2009年に行われるFIBAU-19女子世界選手権出場権を獲得した。

★FIBA U-19 女子世界選手権大会 2009/7/23～8/2 タイ・バンコクで開催予定

◆U-16 代表

期間	活動内容	場所
11/22(土)～11/24(月)	第1次強化合宿	NTC 東京都北区
12/27(土)～12/29(月)	第2次強化合宿	NTC 東京都北区
1/3(土)～1/4(日)	第3次強化合宿	NTC 東京都北区
1/4(日)～1/12(月)	第4次強化合宿(海外遠征)	カナダ バンクーバー
3/13(金)～3/15(日)	第5次強化合宿	日本航空体育館 東京都大田区

※U-16はFIBAの新カテゴリーとして、2009年にアジア選手権、2010年に世界選手権が開催される予定となっている。

本年はそれに向けての強化期間として活動を行った。

★FIBA U-16 女子アジア選手権大会 2009/10月開催予定・開催地未定

★FIBA U-17 女子世界選手権大会 2010/7/16～25 開催予定・開催地未定

◆アジアビーチゲームズ

期間	活動内容	場所
10/24(金)～10/26(日)	第1回アジアビーチゲームズ(3on3)	インドネシア パリ

※第1回大会であったが、桜花学園高校でメンバーを揃え出場、見事初優勝を飾った。

インド・インドネシア・日本・マレーシア・タイの5カ国が出場。

◆オーストラリア ユースオリンピックフェスティバル 2009

期間	活動内容	場所
1/14(水)～1/18(日)	オーストラリア ユースオリンピックフェスティバル2009	オーストラリア シドニー

※U-17でメンバーを揃え出場、準優勝となった。

オーストラリア・ニュージーランド・中国・日本の4カ国が出場。

◆女子強化委員会開催

月日	場所
5/18(金)	岸記念体育会館 101 会議室
6/27(金)	岸記念体育会館 504 会議室
10/20(月)	岸記念体育会館 505 会議室
11/17(月)	岸記念体育会館 505 会議室
12/22(月)	日本青年館カンファレンスルーム
1/20(火)	渋谷ホームズ1階会議室
2/10(火)	岸記念体育会館 101 会議室
3/3(火)	渋谷ホームズ1階会議室

(2)エンデバー

ア. エンデバー活動報告

a. 概要

平成14年度より活動を開始した「エンデバー制度」は、エンデバー活動実施の形態はほぼ定着しているものと思える。

平成20年度の活動目標は大きく7項目に分け、意欲的に目標達成に向けて順次、計画通りに進めてきたものの、結果は残念ながら、例年並みの活動に終始してしまった。しかしながら、体制の変化に伴い、活動実施の方向性を見直し、組織の立て直し等、角度を変えて考えることで、より良い実施方法や実施計画が再認識されることにもなり、次年度の活動に対しては大きな弾みを与えることになった。

b. 実績報告

◎U-18・U-15 男女トップエンデバーの実施

<U-15トップエンデバー>

男女	回数	日程	開催地	会場	参加人数	
					スタッフ	選手
男子	第1回	2008/10/11-10/13	東京都府中市	トヨタ府中スポーツセンター	14	31
	第2回	2008/11/22-11/24	東京都北区	NTC	5	15
女子	第1回	2008/9/13-9/15	東京都北区	NTC	14	31
	第2回	2008/10/11-10/13	東京都北区	NTC	5	15

<U-18トップエンデバー>

男女	回数	日程	開催地	会場	参加人数	
					スタッフ	選手
男子	第1回	2009/3/13-3/15	東京都北区	NTC	13	30
女子	第1回	2009/3/13-3/15	東京都大田区	日本航空	19	31

◎ U-18・U-15 男女ブロックエンデバーの実施

<U-15ブロックエンデバー>

ブロック	男女	日程	開催地	会場	参加人数	
					スタッフ	選手
北海道	男	2008/10/3-10/4	北海道札幌市	札幌平岸高校・札幌北陽中学校	10	40
	女	2008/10/3-10/4	北海道札幌市	札幌平岸高校・札幌平岡中央中学校	10	42
東北	男	2009/1/31-2/1	岩手県一関市	一関市立一関中学校	8	31
	女	2009/1/31-2/1	岩手県一関市	一関市立桜町中学校	7	29
関東	男	2009/2/14-2/15	東京都品川区	品川区立伊藤学園	19	19
	女	2009/2/14-2/15	東京都品川区	品川区立伊藤学園	18	18
北信越	男	2009/1/31-2/1	富山県富山市	富山市総合体育館サブアリーナ	7	25
	女	2009/1/31-2/1	富山県富山市	龍谷富山高校	7	25
東海	男	2009/2/14-2/15	愛知県名古屋市	愛知産業大学高校	5	20
	女	2009/2/14-2/15	愛知県名古屋市	愛知産業大学高校	4	21
近畿	男	2009/2/21-2/22	奈良県奈良市	奈良市立三笠中学校	18	30
	女	2009/2/21-2/22	奈良県奈良市	奈良市立三笠中学校	18	30
中国	男	2009/1/24-1/25	広島県広島市	広島県立総合体育館	11	24
	女	2009/1/24-1/25	広島県広島市	広島県立総合体育館	12	27
四国	男	2009/1/24-1/25	香川県三豊市他	三豊市豊中町体育館・観音寺市豊浜総合体育館	7	20
	女	2009/1/24-1/25	香川県三豊市他	三豊市豊中町体育館・観音寺市豊浜総合体育館	7	20
九州	男	2009/2/21-2/22	熊本県熊本市	県立熊本高校	12	24
	女	2009/2/21-2/22	熊本県熊本市	県立熊本高校	14	24

<U-18ブロックエンデバー>

ブロック	男女	日程	開催地	会場	参加人数	
					スタッフ	選手
北海道	男	2009/2/14-2/15	北海道札幌市	札幌北斗高校	4	20
	女	2009/2/14-2/15	北海道札幌市	札幌北斗高校	5	19
東北	男	2009/2/8-2/10	岩手県一関市	一関市総合体育館(ユードーム)	10	23
	女	2009/2/8-2/10	岩手県一関市	一関市総合体育館(ユードーム)	9	19
関東	男	2009/2/14-2/15	埼玉県春日部市	県立春日部高校	10	33
	女	2009/2/14-2/15	埼玉県春日部市	県立春日部高校	10	36
北信越	男	2009/1/31-2/1	富山県富山市	富山市総合体育館サブアリーナ	7	18
	女	2009/1/31-2/1	富山県富山市	龍谷富山高校	8	15
東海	男	2009/2/21-2/22	愛知県豊田市	愛知学泉大学(豊田校舎)	6	28
	女	2009/2/21-2/22	愛知県岡崎市	愛知学泉大学(岡崎校舎)	7	27
近畿	男	2009/2/21-2/22	兵庫県神戸市	神戸市立科学技術高校	10	21
	女	2009/2/21-2/22	兵庫県神戸市	県立神戸高校	10	22
中国	男	2009/2/21-2/22	広島県広島市	広島市立基町高校	10	15
	女	2009/2/21-2/22	広島県広島市	広島市立基町高校	10	15
四国	男	2009/2/14-2/15	愛媛県四国中央市	四国中央市体育館	8	20
	女	2009/2/14-2/15	愛媛県四国中央市	四国中央市体育館	9	20
九州	男	2009/2/21-2/22	熊本県熊本市	東海大学第二高校	14	32
	女	2009/2/21-2/22	熊本県熊本市	東海大学第二高校	13	31

◎U-12カテゴリーについては「ミニバスケット教室」を各地で開催し、発掘・育成の一番ベースになるカテゴリーだけに、更により充実した育成カリキュラムをミニ連盟と策定する必要がある。

◎各会議の実施

- ・育成部会の開催→第1回 10/10,第2回 12/2,第3回 H21.2/12
- ・全国指導者育成委員長会議 H21.3/22
- ・ U-18トップエンデバー選考会議 H21.2/24

イ. 指導者育成活動報告

a. 概要

三位一体の重要な柱の一つである指導者養成には、「JABBA 変革21」構想の長期計画として最大の事業であり、次代のオリンピック選手を輩出できるか否かが、今後の日本のバスケットを左右するのではないか、と言っても過言ではないと思えるほどに大切な要因をこの指導者養成の分野は持っている。

b. 活動実績

◎(財)日本体育協会公認コーチ養成講習会の開催

日程:2009年3月10日~14日

会場:NTC

受講者数:24名

毎年3月、専門科目講習会を日本協会が担当、1週間実施し、他に約2週間日本体育協会担当で開催している。

また、近々には国体監督資格の義務付けが実施される方向にもあり、資格取得をさらに、啓蒙する必要がある。

◎JBA 公認コーチ制度の円滑な運営→各都道府県協会の主導で、日本協会では、申請・登録・認定に関する連絡・通知・指導を行っている。

2年に一回開催するリフレッシュ研修会の方法に課題が残っているが、順に整理していかねばと考えている。

ウ. 総括

年度途中の引き継ぎに加え、新組織による事業運営を実施していかなければならず、どの内容から進めていくのが良いのか、かなり戸惑いはあったけれども、平成20年度事業計画については、育成部会各ブロック代表理事各位の後押しをいただきながら何とか終了することができた。

しかしながら、「JABBA 変革21」の目指すところには、何の貢献も出来ず仕舞いであった点は、大いなる反省をしている。

育成部の二本柱である「エンデバー委員会」・「指導者育成委員会」のより充実した事業計画を策定し、「チームJAPAN」の一翼を担っていかなければならない。

(3)ナショナルトレーニングセンター(NTC)

平成20年1月に「ナショナルトレーニングセンター(以下、NTC)」が開設され、平成20年度強化活動を中心に、利用された。また、NTCにはバスケットボール専用コートおよびテクニカルルーム(以下、TR)の設置がされており、TRにおいては、育成・強化における情報の集約と分析など将来、機能化をすべく人員の配置など検討して行く事となった。さらには、国内唯一の専用コートとして、トレーニング機材や用具、備品関連なども揃え、日本最先端の拠点として対応をすべく準備を行った。

NTCはJOC管理の下に運営をされており、稼働率の向上が求められている事から、日本代表の活動以外にも、JB A加盟チームや連盟等へも貸し出しを行っている。

今後は、バスケットボールの拠点として、日本最高峰の設備にふさわしい情報分析機能を持つよう体制の構築をしてゆく必要がある。また、エリートアカデミー的な活用も視野に入れ、強化活動以外にも、会議や研修などにも積極的に利用できるよう努める。

1. トレーニング機材・用具・備品の設置
2. NTC 施設管理〔全体: JOC、専用施設:各中央競技団体〕
 - ・ NTC設置に伴うJOC 専任コーチ規程、役割の変更
 - ・ 各競技団体専任コーチ及び専任スタッフの配置義務
専任コーチ(JOC 研修義務)
専任スタッフ(TR 担当を含む):1 名専従者設置
 - ・ NTC 年間利用料の支払い
3. 強化拠点活用
 - ・ 各カテゴリー日本代表年間専属利用
 - ・ 日本協会内事業の利用計画の策定
 - ・ 日本協会加盟団体及び加盟チームなどの利用計画の策定
 - ・ 専用競技備品の手配、管理

(4) 医科学研究

医科学事業および研究

1. 海外遠征・国際競技会におけるチームドクターとしての活動;
 - 1) 女子・FIBA 北京オリンピック最終予選 (2008.06 スペイン)
 - 2) 男子・FIBA U-18 アジア選手権大会 (2008.08-09 イラン)
 - 3) 女子・FIBA U-18 アジア選手権大会 (2008.11 インドネシア)
 - 4) 男子女子・ユースオリンピックフェスティバル (2009.01 オーストラリア)
2. 海外合宿・国内合宿におけるチームドクターとしての活動;
 - 1) 女子A チーム海外合宿・国内合宿
 - 2) 男子U-18 チーム国内合宿
 - 3) 女子U-18 チーム国内合宿
3. 海外遠征・国際競技会・海外合宿・国内合宿におけるトレーナー派遣;
 - 1) 女子A チーム海外遠征・国際競技会・海外合宿・国内合宿
 - 2) 男子U-18 チーム海外遠征・国際競技会・国内合宿
 - 3) 女子U-18 チーム海外遠征・国際競技会・国内合宿
 - 4) 男子U-16 チーム海外遠征・国際競技会
 - 5) 女子U-16 チーム海外遠征・国際競技会
4. 代表チームのメディカルチェック;女子A チーム、男子U-18 チーム、女子U-18 チーム
5. 国内競技会における医事運営および救護活動;
 - 1) JBL2008-2009 シーズン主催試合
 - 2) WJBL2008-2009 シーズン主催試合

- 3)全日本学生選手権大会インカレ男子(2008.11-12)
- 4)全国高等学校選抜優勝大会ウインターカップ(2008.12)
- 5)全日本総合選手権大会オールジャパン(2009.01)
- 6)全国ミニバスケットボール大会(2009.03)

6. 国内競技会におけるドーピングコントロールの実施;

- 1)全日本総合選手権大会オールジャパン 計 24 検体(4 検体*6 試合)
- 2)JBL 2008-2009 シーズン 計 20 検体(4 検体*5 試合)
- 3)WJBL 2008-2009 シーズン 計 28 検体(4 検体*7 試合)

7. 医科学研究委員会開催;1)2008.06.27 2)2008.09.26 3)2008.11.21 4)2009.03.27
ワーキンググループ会議開催;随時

8. バスケットボール女子日本リーグ機構(WJBL)を対象とした外傷調査

9. その他の活動;

- 日本体育協会スポーツドクター代表者会議出席・養成講習会受講者推薦
- 日本体育協会アスレチックトレーナー養成講習会受講者推薦
- ドーピングコントロールオフィサー養成講習会受講者推薦
- バスケットボールトレーナー研修会開催 など

(5) コーチコミッティー

- 2008年度会報「日本バスケットボールの未来を創る」発行

2. 競技会の開催

(1) 国内競技会

1. 『第27回全国ママさんバスケットボール交歓大会』

期 日：平成20年7月19日(土)～7月21日(月)

開催地：長崎県 長崎市

参加チーム：80チーム(一般：56チーム、シニア：24チーム)

順位および：<一般> 優勝チーム

試合結果	Aブロック	G-MAX(長崎)	57-36	ENDLESS(静岡)
	Bブロック	津田沼クラッシ(千葉)	49-35	上越ママ(新潟)
	Cブロック	多治見エルクラブ(岐阜)	47-42	金曜クラブ(千葉)
	Dブロック	熊本ママ(熊本)	53-38	NBC(東京)
	Eブロック	倉敷藤花(岡山)	47-30	ミルキー(大分)
	Fブロック	ザ・マザーズ弥生(東京)	48-37	TOYOTA SUN(愛知)
	Gブロック	ARASHI(大阪)	48-45	MBC(青森)
	<シニア>優勝チーム			
	Hブロック	ホピシニア(神奈川)	35-11	完我留(千葉)
	Iブロック	高崎エレガンス(群馬)	33-21	LOVELY京都(京都)
	Jブロック	ミッキーズ(山口)	23-14	熊本ママシニア(熊本)

2. 『平成20年度全国高等学校総合体育大会・第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会』

期 日：平成20年7月29日(火)～8月3日(日)

開催地：埼玉県 深谷市、本庄市

参加チーム： 男子 59チーム 女子 59チーム

順位	優勝	延岡学園高等学校(宮崎)	桜花学園高等学校(愛知)
	準優勝	福岡第一高等学校(福岡)	東京成徳大学高等学校(東京)
	3位	北陸高等学校(福井)	聖カタリナ女子高等学校(愛媛)
	3位	洛南高等学校(京都)	土浦日本大学高等学校(茨城)
試合結果	準決勝	延岡学園 90-59 北陸	桜花学園 62-41 聖カタリナ女子
	準決勝	福岡第一 84-63 洛南	東京成徳 89-73 土浦日大
	決勝	延岡学園 65-62 福岡第一	桜花学園 80-78 東京成徳

3. 『平成20年度第18回全国高等学校定時制通信制バスケットボール大会』

期 日：平成20年7月31日(木)～8月3日(日)

開催地：東京都 渋谷区

参加チーム： 男子 46チーム 女子 33チーム

順位	優勝	開志学園高等学校(通)(新潟)	天理高等学校 第二部(奈良)
	準優勝	神奈川県立横浜修悠館高等学校(通)(神奈川)	倉敷市立倉敷翔南高等学校(岡山)
	3位	川口市立県陽高等学校(埼玉)	福岡県立博多青松高等学校(福岡)

3 位	兵庫県立西宮香風高等学校(兵庫)	福島県立郡山萌世高等学校(福島)
試合結果：準決勝	開志学園 114-52 市立県陽	天理(二部) 49-46 博多青松
準決勝	横浜修悠館 97-75 西宮香風	倉敷翔南 86-58 郡山萌世
決勝	開志学園 85-72 横浜修悠館	天理(二部) 82-48 倉敷翔南

4. 『2008 F I D ジャパン・チャンピオンシップバスケットボール大会(第13回)』

期 日：平成20年8月2日(土)～8月3日(日)

開催地：神奈川県 海老名市

参加チーム：	男子Aリーグ 12チーム	女子 10チーム
順位：優勝	PWLメイジャーズ(神奈川)	つばさクラブ(東京)
準優勝	つばさクラブ(東京)	春日井クラブ(愛知)
3 位	春日井クラブ(愛知)	あいちクラブ(愛知)
4 位	豊田レインボークラブ A(愛知)	彩の国レッドキング(埼玉)
試合結果：準決勝	PWL 74-59 豊田	つばさ 52-25 彩の国
準決勝	つばさ 70-54 春日井	春日井 47-46 あいち
3 決	春日井 98-76 豊田	あいち 60-23 彩の国
決勝	PWL 72-58 つばさ	つばさ 59-55 春日井

参加チーム：	男子Bリーグ 8チーム
順位：優勝	藤沢ウィング(神奈川)
準優勝	春日井 Jr(愛知)
試合結果：準決勝	藤沢 37-33 山梨ドリームクラブ
準決勝	春日井 28-19 豊田レインボークラブ B
決勝	藤沢 29-28 春日井

5. 『第46回男子・第38回女子全日本教員バスケットボール選手権大会』

(第64回国民体育大会バスケットボール競技リハーサル大会)

期 日：平成20年8月9日(土)～8月12日(火)

開催地：新潟県 新潟市、佐渡市

参加チーム：	男子 40チーム	女子 23チーム
順位：優勝	新潟教員	千葉女子教員
準優勝	愛知教員 A	熊本女子教員クラブ
3 位	福島教員 A	京都教員女子
3 位	山形県教員	新潟教員
試合結果：準決勝	新潟 100-61 山形	千葉 114-41 京都
準決勝	愛知 79-65 福島 A	熊本 96-86 新潟
決勝	新潟 91-64 愛知 A	千葉 129-66 熊本

6. 『第13回全国専門学校バスケットボール選手権大会』

期 日：平成20年8月19日(火)～8月23日(土)

開催地：北海道 札幌市

参加チーム：	男子 16チーム	女子 12チーム
順位：	優勝 アップルスポーツカレッジ	大阪社会体育専門学校
	準優勝 専門学校尚学院国際ビジネスアカデミー	東京リゾート&スポーツ専門学校
	3位 日本ウェルネススポーツ専門学校	大阪リゾート&スポーツ専門学校
	4位 日本工学院八王子専門学校	日本ウェルネススポーツ専門学校
試合結果：	準決勝 アップル 71-45 日工八王子	大阪社体 62-54 大阪リゾート
	準決勝 尚学院 67-62 日本ウェルネス	東京リゾート 66-61 日本ウェルネス
	3決 日本ウェルネス 55-54 日工八王子	大阪リゾート 71-61 日本ウェルネス
	決勝 アップル 86-59 尚学院	大阪社体 77-54 東京リゾート

7. 『第43回全国高等専門学校体育大会バスケットボール競技』

期 日：平成20年8月23日(土)～8月24日(日)

開催地：北海道 旭川市

参加チーム：	男子 12チーム	女子 8チーム
順位：	優勝 北九州工業高等専門学校(福岡)	大島商船高等専門学校(山口)
	準優勝 宮城工業高等専門学校(宮城)	鈴鹿工業高等専門学校(三重)
	3位 神戸市立工業高等専門学校(兵庫)	宮城工業高等専門学校(宮城)
	3位 金沢工業高等専門学校(石川)	沖縄工業高等専門学校(沖縄)
試合結果：	準決勝 北九州 67-64 神戸市立	大島商船 85-55 宮城
	準決勝 宮城 92-69 金沢	鈴鹿 89-80 沖縄
	決勝 北九州 72-68 宮城	大島商船 74-64 鈴鹿

8. 『第38回全国中学校バスケットボール大会』

期 日：平成20年8月23日(土)～8月25日(月)

開催地：新潟県 新潟市、新発田市

参加チーム：	男子 24チーム	女子 24チーム
順位：	優勝 新発田市立本丸中学校(新潟)	昭和学院中学校(千葉)
	準優勝 京北中学校(東京)	東京成徳大学中学校(東京)
	3位 習志野市立第五中学校(千葉)	沖縄市立コザ中学校(沖縄)
	3位 福岡市立福岡中学校(福岡)	松山市立南第二中学校(愛媛)
試合結果：	準決勝 本丸 62-53 習志野	昭和学院 56-55 南第二
	準決勝 京北 72-70 福岡	東京成徳 62-49 コザ
	決勝 本丸 74-68 京北	昭和学院 53-39 東京成徳

9. 『日本スポーツマスターズ2008』

期 日 平成20年9月20日(土)～9月23日(火)

開催地 高知県 高知市、香南市

参加チーム： 男子 43チーム 女子 18チーム

順位：優勝 東京 東京

準優勝 大阪 広島

3位 山口 埼玉

3位 千葉 大阪

試合結果：準決勝 東京 74-52 山口 東京 74-36 埼玉

準決勝 大阪 59-46 千葉 広島 47-45 大阪

決勝 東京 73-43 大阪 東京 59-39 広島

10. 『日本バスケットボールリーグ2008-2009 (JBL)』

期 日 平成20年9月26日(金)～平成21年3月26日(木)

開催地 全国各地

参加チーム： 8チーム

順位：優勝 アイシンシーホース

準優勝 日立サンロッカーズ

3位 パナソニックトライアンズ

3位 トヨタ自動車アルバルク

試合結果：プレイオフセミファイナル

第1戦 アイシン 80-72 トヨタ 日立 63-60 パナニック

第2戦 アイシン 67-62 トヨタ パナニック 79-72 日立

第3戦 *** 日立 76-62 パナニック

プレイオフファイナル

第1戦 アイシン 68-64 日立

第2戦 日立 65-62 アイシン

第3戦 アイシン 81-71 日立

第4戦 アイシン 79-59 日立

11. 『第63回国民体育大会』

期 日：平成20年9月28日(日)～10月2日(木)

開催地：大分県 中津市、大分市、宇佐市

参加チーム： 成年男子 48チーム 成年女子 12チーム

順位：優勝 千葉 東京

準優勝 東京 新潟

3位 秋田 愛知

3位 山形 長崎

試合結果：準決勝 千葉 98-81 秋田 東京 81-68 愛知

準決勝	東京	73-69	山形	新潟	86-83	長崎
決勝	千葉	92-61	東京	東京	85-71	新潟

参加チーム：	少年男子	12チーム	少年女子	12チーム			
順位：	優勝	京都	東京				
	準優勝	宮城	神奈川				
	3位	千葉	福岡				
	3位	宮崎	愛媛				
試合結果：	準決勝	京都	109-87	千葉	東京	89-81	福岡
	準決勝	宮城	101-90	宮崎	神奈川	76-37	愛媛
	決勝	京都	92-83	宮城	東京	81-60	神奈川

12. 『第10回Wリーグ (WJBL) 』

期 日：平成20年10月3日(金)～平成21年3月12日(木)

開催地：全国各地

参加チーム：	Wリーグ	8チーム	WIリーグ	5チーム
順位：	優勝	JOMOサンフラワーズ	三菱電機	
	準優勝	シャンソン化粧品	シャンソンVマジック	荏原
	3位	富士通レッドウェーブ		甲府
	4位	トヨタ自動車アンテロープス		東京海上日動

試合結果：Wリーグ・プレイオフセミファイナル

第1戦	JOMO	85-84	富士通	シャンソン	57-56	トヨタ
第2戦	JOMO	74-64	富士通	トヨタ	63-60	シャンソン
第3戦	***			シャンソン	77-70	トヨタ

Wリーグ・プレイオフファイナル

第1戦	JOMO	73-66	シャンソン
第2戦	シャンソン	74-71	JOMO
第3戦	JOMO	102-68	シャンソン
第4戦	JOMO	107-105	シャンソン

13. 『JBL2 2008-2009』

期 日：平成20年10月18日(土)～平成21年3月15日(日)

開催地：全国各地

参加チーム：	8チーム	
順位：	優勝	豊田通商ファイティングイーグルス
	準優勝	アイシン・エイ・ダブリュ アレイオンズ安城
	3位	豊田合成スコープオンズ

試合結果：プレイオフ

セミファイナル 豊田通商 79-61 日立電線

	アイシンAW	62-46	豊田合成
3位決定戦	豊田合成	78-66	日立電線
ファイナル	豊田通商	79-61	アイシンAW

14. 『第4回全日本社会人バスケットボール選手権大会』

期 日：平成20年11月2日(日)～11月3日(月)

開催地：宮城県 白石市

参加チーム： 男子 16チーム 女子 8チーム

順位：優勝 横河電機(実業団1位) 山形銀行(実業団1位)

準優勝 JR東日本秋田(実業団2位) 鶴屋百貨店(実業団2位)

3位 九州電力(実業団3位) 秋田銀行(実業団3位)

試合結果：準決勝 横河電機 81-72 東京日産 山形銀行 90-81 千葉女子教員

準決勝 JR東日本 82-46 九州電力 鶴屋百貨店 72-71 秋田銀行

3 決 九州電力 111-73 東京日産 山形銀行 94-92 千葉女子教員

決 勝 横河電機 82-55 JR東日本 山形銀行 77-68 鶴屋百貨店

15. 『第1回全日本クラブシニアバスケットボール選手権大会 兼

第1回全日本クラブスーパーシニアバスケットボール交歓大会』

期 日：平成20年11月23日(日)～11月24日(月)

開催地：群馬県 前橋市

参加チーム： シニア 16チーム スーパーシニア 7チーム

順位：優勝 東京都(東京都) 草加せんべわず(埼玉)

準優勝 千葉 GOLD FIVE(千葉) 札幌シニア(北海道)

試合結果：準決勝 東京都 70-38 40 Borders 草加 93-50 上州

準決勝 千葉 78-54 小田原 札幌 50-27 徳島

決 勝 東京都 72-60 千葉 草加 63-60 札幌

16. 『第60回全日本大学バスケットボール選手権記念大会(インカレ)』

期 日 平成20年11月29日(土)～12月7日(日)

開催地 東京都 渋谷区、神奈川県 横浜市

参加チーム： 男子 32チーム 女子 32チーム

順位：優勝 慶應義塾大学 拓殖大学

準優勝 国士舘大学 大阪体育大学

3 位 青山学院大学 武庫川女子大学

試合結果：準決勝 慶応大 99-67 専修大 拓殖大 73-54 武庫川大

準決勝 国士舘大 92-80 青学大 大体大 57-47 日女体大

3 決 青学大 77-55 専修大 武庫川大 71-54 日女体大

決 勝 慶応大 104-73 国士舘大 拓殖大 73-69 大体大

17. 『第10回全国専門学校バスケットボール選抜大会』

期 日：平成20年12月16日(火)～12月19日(金)

開 催 地：神奈川県 海老名市

参加チーム：	男子 10チーム	女子 7チーム
順 位：優勝	沖縄ブロック	東京ブロック
	準優勝 東京ブロック	関西ブロック
	3 位 北信越ブロック	神奈川ブロック
試合結果：準決勝	沖縄 107-80 関西	東京 102-68 神奈川
	準決勝 東京 72-68 北信越	関西 83-54 東北
	3 決 北信越 90-72 関西	神奈川 68-40 東北
	決 勝 沖縄 78-68 東京	東京 75-66 関西

18. 『JOMOウインターカップ2008 第39回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会』

期 日：平成20年12月23日(火)～12月29日(月)

開 催 地：東京都 渋谷区

参加チーム：	男子 48チーム	女子 48チーム
順 位：優勝	洛南高等学校(京都)	桜花学園高等学校(愛知)
	準優勝 福岡第一高等学校(福岡)	東京成徳高等学校(東京)
	3 位 延岡学園高等学校(宮崎)	山形市立商業高等学校(山形)
	4 位 八王子高等学校(東京)	聖カタリナ女子高等学校(愛媛)
試合結果：準決勝	洛南 70-58 延岡学園	桜花学園 84-59 山形市商
	準決勝 福岡第一 89-80 八王子	東京成徳 86-72 聖カタリナ
	3 決 延岡学園 89-65 八王子	山形市商 80-75 聖カタリナ
	決 勝 洛南 73-70 福岡第一	桜花学園 88-74 東京成徳

19. 『第84回天皇杯・第75回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会』

期 日：平成21年1月1日(木)～1月12日(月)

開 催 地：東京都 渋谷区

参加チーム：	男子 32チーム	女子 32チーム
順 位：優勝	アイシンシーホース	JOMOサンフラワーズ
	準優勝 日立サンロッカーズ	富士通レッドウェーブ
	3 位 パナソニックトライアンズ	トヨタ自動車アンテロープス
	3 位 トヨタ自動車アルバルク	シャンソン化粧品 シャンソンVマジック
試合結果：準決勝	アイシン 82-78 トヨタ	JOMO 78-75 シャンソン
	準決勝 日立 90-72 パナソニック	富士通 75-56 トヨタ自動車
	決 勝 アイシン 65-48 トヨタ	JOMO 86-62 富士通

20. 『第41回全日本実業団バスケットボール選手権大会』

期 日：平成21年2月7日(土)～2月10日(火)

開 催 地：兵庫県 神戸市

参加チーム： 男子 32チーム

女子 16チーム

順 位：優 勝 横河電機

山形銀行

準優勝 九州電力

鶴屋百貨店

3 位 新生紙パルプ商事

秋田銀行

3 位 JR東日本秋田

三井住友銀行

試合結果：準決勝 横河電機 82-72 新生紙パ

山形銀行 82-58 三井住友

準決勝 九州電力 72-61 JR 東日本

鶴屋百貨店 67-61 秋田銀行

決 勝 横河電機 90-84 九州電力

山形銀行 80-68 秋田銀行

21. 『第35回全日本クラブバスケットボール選手権大会』

期 日：平成21年3月20日(金)～3月22日(日)

開 催 地：北海道 札幌市

参加チーム： 男子 32チーム

女子 32チーム

順 位：優 勝 はじめまして(大阪)

LOWS(愛知)

準優勝 055(三重)

Freeクラブ(静岡)

3 位 八戸クラブ(青森)

BLUE☆STARS(埼玉)

3 位 横浜ギガスピリッツ(神奈川)

ストレッチ(長崎)

試合結果：準決勝 はじめまして 88-63 八戸

LOWS 101-92 BLUE

準決勝 055 72-68 横浜

Free 81-73 ストレッチ

決 勝 はじめまして 84-58 055

LOWS 99-72 Free

22. 『ジュニアオールスター2009

平成20年度 第22回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会』

期 日：平成21年3月28日(土)～3月30日(月)

開 催 地：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

参加チーム： 男子 48チーム

女子 48チーム

順 位：優 勝 東京都B

福岡県

準優勝 福岡県

東京都A

3 位 静岡県

埼玉県

3 位 北海道

千葉県

試合結果：準決勝 東京B 61-46 静岡

福岡 69-56 埼玉

準決勝 福岡 69-45 北海道

東京A 69-62 千葉

決 勝 東京B 74-69 福岡

福岡 75-38 東京A

23. 『第40回全国ミニバスケットボール大会』

期 日：平成21年3月28日(土)～3月30日(月)

開 催 地：東京都 渋谷区

参加チーム：男子 48チーム 女子 48チーム

順位および：<男子> 優勝チーム

試合結果 Aブロック 扇MAXミニバスケットボールクラブ (東京) 50-45 滝ノ水ミニバスケットボールクラブ (愛知)
Bブロック 長町南小ミニバスケットボール同好会 (宮城) 46-26 吉木クラブ (福岡)
Cブロック 南観音小MB同好会 (広島) 47-38 白銀南MBBC (青森)
Dブロック 豊府ミニバスケットボールスポーツ少年団 (大分) 32-27 八郎湯 (秋田)

<女子> 優勝チーム

Aブロック 姫山女子MBBC (愛媛) 28-24 上野ミナミツウミニバスケットボールスポーツ少年団 (山梨)
Bブロック 国分寺MBBC (東京) 40-28 角倉ミニバスケットボールスポーツ少年団 (山口)
Cブロック 昭和ミニバスケットボールクラブ (愛知) 58-29 大庭ブルーウィングス (島根)
Dブロック ゆりのきビーズ (兵庫) 53-26 ミニバスきたくりスポーツ少年団 (岩手)

(2) 国体部

1 日体協「国体競技運営部会」

期日：平成20年6月19日

場所：岸記念体育会館 505号室

出席：日体協国体推進部、各種競技団体代表、国体部長

議題：参加資格と処分、ドーピングコントロール、23年山口国体の会期、25年東京国体

開催を内定、新潟国体要項、傷害保険制度、新潟国体のイベント事業

2 21年新潟国体リハーサル大会

期日：平成20年8月9日～12日

場所：新潟市東総合スポーツセンター、佐渡市両津総合体育館

点検：器具、用具、施設、大会運営状況

3 22年千葉国体リハーサル大会打合せ

期日：平成20年8月9日

場所：新潟市東総合スポーツセンター

出席：日本協会、教員連盟、新潟県協会・実行委員会、千葉県協会・実行委員会

議題：運営方法、経費負担等

4 国体委員会

期日：平成20年8月21日

場所：代々木第二体育館会議室

出席：国体部長、国体副部長、大分県理事長、新潟県理事長、事務局長

議題:12 チームにおけるシード基準

5 大分国体 組合せ抽選会

期日:平成20年9月6日、(事前打合せ:9月5日、東京体育館第二会議室)

場所:岸記念体育会館 地下3階

出席:日体協、日本協会、大分県協会、新潟県協会ほか

6 大分国体

期日:平成20年9月26日～10月2日

場所:大分コンパルホールほか

イベント事業:9/28 成年男子:大分 vs 福島 実況中継(ルール・審判の判定等の解説)

7 国体委員会

期日:平成20年11月5日

場所:岸記念体育会館 505号会議室

出席:国体部長、国体副部長、競技運営部長、育成部長、岡理事、事務局長、弘田担当

議題:シード基準、抽選会、ブロック代表12チーム数の見直し等

8 21年新潟国体視察

期日:平成20年12月10日～11日

場所:本大会使用予定の各体育館の視察と設備器具の点検

出席:国体部長、国体副部長、事務局長

9 26年長崎国体 正規視察

期日:平成21年1月29日～30日

場所:大村市体育文化センター他3施設

出席:国体部長、国体副部長、事務局長

内容:施設、設備・器具、宿泊施設、競技・審判・補助役員の育成状況等

(3) 日本スポーツマスターズ大会

1. 日本スポーツマスターズ2008高知大会第1回中央競技団体連絡協議会

期日:平成20年4月22日(木)13時

場所:岸記念体育館2階会議室

議題:日本スポーツマスターズ2008高知大会について

2. 平成20年度第1回日本スポーツマスターズ委員会

期日:平成20年6月12日(木)13時

場所:岸記念体育館2階会議室

- 議 題:①日本スポーツマスターズ 2008 高知大会準備状況について
②日本スポーツマスターズ 2009 静岡富士山大会競技会場について

3. 日本スポーツマスターズ 2008 高知大会組合せ抽選会

期 日:平成 20 年 8 月 7 日(木)13 時
場 所:岸記念体育館 504 号会議室

4. 日本スポーツマスターズ 2008 高知大会開催

期 日:平成 20 年 9 月 19 日(金)～23 日(火)
場 所:高知市総合運動場体育館・高知市立体育館
参加チーム:男子 43 チーム・女子 18 チーム

5. 日本スポーツマスターズ 2009 静岡富士山大会現地会場視察及び打合せ

期 日:平成 20 年 11 月 21 日(金)13 時
場 所:静岡県静岡市
テーマ: 1)大会会場及び器具関係視察
2)現状での問題点の把握と指導・助言

6. 日本スポーツマスターズ委員会第2回中央競技団体連絡協議会

期 日:平成 20 年 11 月 14 日(木)13 時
場 所:岸記念体育館 2 階会議室
議 題:日本スポーツマスターズ 2008 高知大会終了について

7. その他の活動目標

- ①日本体育協会との連携強化による関係向上
- ②各都道府県からの要望意見を把握し、対策の立案
- ③各都道府県の参加向上に関する啓蒙活動
- ④普及部・クラブ連盟・家庭婦人連盟との連携強化
- ⑤シニア対策に関する調査

3. 国際競技会の開催及び代表チームの派遣

(1) 国際 (国内開催)

1. 『バスケットボール女子日本代表国際招待試合 2008』

期 日:平成 20 年 5 月 18 日 (日)
開 催 地:東京都 渋谷区
参加チーム:女子日本代表、女子リトアニア代表
試合結果 :日本 66-63 リトアニア

2. 『第16回日・韓・中ジュニア交流競技会』

期 日：平成20年8月25日(月)～8月27日(水)

開 催 地：千葉県 千葉市

参加チーム：男子 4チーム 日本、韓国、中国、千葉県

女子 4チーム 日本、韓国、中国、千葉県

順 位： 男子

優 勝 中国 (3勝)

準優勝 韓国 (2勝1敗)

千葉 (1勝2敗)

日本 (0勝3敗)

試合結果： 韓国 97-79 日本

中国 147-76 千葉

千葉 102-74 日本

中国 138-75 日本

韓国 105-88 千葉

女子

優 勝 中国 (3勝)

準優勝 日本 (2勝1敗)

3 位 韓国 (1勝2敗)

4 位 千葉 (3敗)

日本 87-80 韓国

中国 101-69 千葉

日本 76-72 千葉

中国 110-60 日本

韓国 73-70 千葉

3. 『2008日韓Wリーグチャンピオンシップ』

期 日：平成20年9月7日(土) ジャパンゲーム、9月10日(水) コリアゲーム

開 催 地：ジャパンゲーム：日本 東京、 コリアゲーム：韓国 ソウル

参加チーム：富士通レッドウェーブ、新韓銀行 S-birds

順 位：優 勝 新韓銀行 S-birds (2勝)

準優勝 富士通レッドウェーブ (2敗)

試合結果：第1戦 新韓銀行 81-72 富士通

第2戦 新韓銀行 90-84 富士通

(2) 国際(国外開催)

1. 『2008年日韓ママさんバスケットボール親善大会』

期 日：平成20年5月3日(土)～5月4日(日)

開 催 地：韓国 ソウル

参加チーム：日本(千葉)、韓国A、韓国B

試合結果：韓国A 65-48 日本(千葉)

韓国B 70-44 日本(千葉)

2. 『第31回李相佰杯争奪 日韓学生バスケットボール競技大会』

期 日：平成20年5月10日(土)～5月12日(月)

開 催 地：韓国 ソウル、水原

参加チーム： 男子 2チーム

女子 2チーム

順 位：優 勝 韓国学生選抜(3勝)

日本学生選抜(2勝1敗)

	準優勝	日本学生選抜(3敗)		韓国学生選抜(1勝2敗)
試合結果	: 第1戦	韓国 78-66	日本	韓国 82-72
	第2戦	韓国 75-72	日本	日本 104-87
	第3戦	韓国 69-65	日本	日本 81-70
				韓国

3. 『FIBA北京オリンピック女子世界最終予選』

期 日:平成20年6月9日(月)~6月15日(日)

開催地:スペイン マドリード

参加チーム:12チーム(レベルI)

順位:上位4チーム スペイン、チェコ、ラトビア、ベラルーシ
5位 ブラジル
ベスト8 日本

試合結果	: 予選ラウンド	グループA	日本	71-69	セネガル
			ラトビア	83-69	日本
	準々決勝		チェコ	76-64	日本
	準決勝(出場チーム決定戦)		キューバ	66-58	日本
			ブラジル	75-58	アンゴラ
	決勝(出場チーム決定戦)		ブラジル	72-67	キューバ

4. 『第20回FIBAアジアU-18男子バスケットボール選手権大会』

期 日:平成20年8月28日(木)~9月5日(金)

開催地:イラン テヘラン

参加チーム:16チーム

順位:優勝 イラン
準優勝 カザフスタン
3位 シリア
4位 日本

試合結果	: 予選ラウンド	グループA	日本	96-71	インド
			日本	102-60	ホンコン・チャイナ
			中国	119-59	日本(3勝)
	2次ラウンド	グループII	イラン	111-91	日本
			日本	87-78	フィリピン
			日本(2勝1敗)	81-75	韓国
	準決勝		カザフスタン	103-78	日本
	3位決定戦		シリア	93-86	日本

5. 『第19回FIBAアジアU-18女子バスケットボール選手権大会』

期 日:平成20年11月2日(日)~11月9日(日)

開催地:インドネシア

参加チーム：6チーム（レベルI）

順位：優勝 日本（初優勝）

準優勝 中国

3位 韓国

試合結果	：予選ラウンド	日本	96-67	チャイニーズ・タイペイ
		日本	90-50	マレーシア
		日本	78-65	韓国
		日本	111-34	インド
		日本	87-71	中国
	準決勝	日本	90-53	チャイニーズ・タイペイ
	決勝	日本	90-87	中国

4. 国際関係

<国際部>

1. 国内開催各大会等の支援

1) 女子日本国際招待大会(5月18日・リトアニア)東京

2. 大会参加チームの支援

1) FIBA北京オリンピック女子世界予選(6月9日～15日)スペイン・マドリッド

2) 第20回FIBAアジアU-18男子選手権大会(8月28日～9月5日)イラン

3) 第1回アジアビーチ競技大会(10月24日～10月26日)インドネシア

4) 第19回FIBAアジアU-18女子選手権大会(11月2日～11月9日)インドネシア

3. 国際会議等出席・来日FIBA/FIBAアジア役員等対応

1) FIBA事務総長(4月30日：東京)

2) FIBAアジア理事会(6月13日～15日：ホンコン)

3) FIBAアジア常務理事会・東アジアサブゾーン会議(8月27日～9月2日)イラン

4) FIBAスポーツ局長(9月14日：東京)

5) 第1回アジアビーチ競技大会(10月23日～10月27日：インドネシア)

6) FIBAアジア理事会(11月2日～11月5日：マレーシア)

7) 第19回FIBAアジアU-18女子選手権大会(11月6日～11月9日：インドネシア)

8) FIBA会長・オーストラリア協会役員(2009年1月12日～1月17日：シドニー)

9) 国際親善女子車椅子バスケットボール大阪大会代表者会議(2009年2月18日：大阪)

10) FIBA会長・事務総長ら(2009年2月25日～2月27日：東京)

11) FIBAアジア東アジアサブゾーン協会事務総長(2009年2月27日～2月28日：名古屋)

4. FIBAおよびFIBAアジア等関係者対応

1) リトアニアチーム役員(5月14日：東京)

2) 駐日リトアニア大使館大使等(5月18日：東京)

3) 国際車椅子バスケットボール連盟副会長(2009年2月19日～21日：大阪)

【注】

日常の諸業務については省略。

5. 講習会及び指導者養成

(1) 公認スポーツ指導者養成

「1. 技術の調査研究」の中で報告済み。

(2) 規則・審判事業

<規則部>

1. 競技規則の制定

- ①競技規則書の発行（2009～）
- ②競技規則書発行に伴うFIBAからの伝達文書等の和訳、編集等。
- ③検定工場会との打ち合わせ

<審判部>

1. 全国審判長会議

期日:平成20年3月22日(土)～3月23日(日)

参加者:全国審判長、ブロック長、審判指導員、審判審査委員、審判部会メンバー

場所:東京

内容:①平成19年度審判部会事業報告及び20年度事業計画発表

- ②平成19年度審判部会決算報告及び20年度予算報告発表
- ③競技規則変更点等の講義、規則に関する質疑応答
- ④日本協会公認審判審査委員会及び各連盟、委員会からの報告
- ⑤ブロック別審判長会議
- ⑥JBLファイナル第2戦、第3戦観戦研修

2. ブロック長会議

期日:第1回 平成20年3月22日(土)(東京)

第2回 平成20年9月27日(土)(大分市)

参加者:各ブロック審判長(10名)、及び審判部長、副部長、総務委員他

内容:①各ブロックの状況報告

- ②20年度第1次A級指名強化招集者の選考、女性(A級)審判強化合宿招集者の選考
- ③A級及び女性審判の指導育成について
- ④20年度下半期の行事の確認及び、21年度行事案の検討(第2回開催時)

3. A級研修合宿

期日:平成20年5月～平成21年2月(全国各ブロック開催地)

講師:審判部指導委員会

参加者:A級公認審判員

内容:A級公認審判員としての意識向上と技術の全国標準化を図るための研修会(研修内容は各ブロック主導で企画)派遣要請のあったブロックに講師派遣。

4. FIBA-ASIA クリニック(国際審判員・コミッショナー新規受験及び資格更新検定等)

期日:平成20年9月14日(土)~15日(月)(国際審判員)

場所:東京 ナショナルトレーニングセンター

講師:Lubomir Kotleba 氏(FIBA・スポーツディレクター)

参加者:国際審判員新規受講者3名を含む17名受講

内容:講義、審判実技テスト、英文ルールテスト、語学カテスト、体カテスト

期日:平成21年1月10日(土)~11日(日)(コミッショナー)

場所:マレーシア

講師:Lubomir Kotleba 氏(FIBA・スポーツディレクター)

参加者:コミッショナー更新者4名受講

内容:講義、英文ルールテスト、語学カテスト

5. A級強化合宿(フレッシュマン研修)

期日:平成20年4月26日(土)、27日(日)、29日(火)、5月3日(土)~6日(火)

場所:東京(府中市)

講師:審判部指導委員会

参加者:平成20年度A級公認男性新規昇格者24名

内容:新規昇格者を対象に、A級審判員としての心構えや、実戦の試合を通して審判技術の向上等を研修すると共に、評価の高い者を第2次A級指名強化合宿へ推薦。

6. 第1次A級指名強化合宿

期日:平成20年4月26日(土)、27日(日)、29日(火)、5月3日(土)~6日(火)

場所:東京(府中市)

講師:審判部指導委員会

参加者:男性A級公認審判員31名(ブロックからの推薦者)

内容:実戦ゲームにより判定基準、ゲームコントロール等を評価し、評価の高い者を第2次A級指名強化合宿へ推薦。

7. 女性審判強化合宿

期日:平成20年7月18日(金)~7月22日(火)

場所:愛知県豊田市(WJBL サマーキャンプ)

講師:審判部指導委員会

参加者:24名(女性A級、AA級対象)

内容:WJBLゲームの実技を通して、判定基準の確立を研修。その他、チームスタッフとのミーティング等を実施。

8. AA級強化合宿(男性)

期日:平成20年7月18日(金)~7月22日(火)

場所:愛知県豊田市(WJBL サマーキャンプ)

講師:審判部指導委員会

参加者: 男性 AA 級公認審判員(WJBL 担当)

内容: 前年度シーズンの反省、WJBL ゲームの実技研修、チームスタッフとのミーティング、ルールの確認作業等を実施。

期日: 平成 20 年 8 月 30 日(土)~8 月 31 日(日)

場所: 東京 ナショナルトレーニングセンター

講師: Jakub Zamojski (FIBA/ポーランド)

参加者: 男性 AA 級公認審判員(JBL 担当)

内容: 前年度シーズンの反省、JBL ゲームの実技研修、Jakub Zamojski 氏による DVD 研修、チームスタッフとのミーティング、ルールの確認作業等を実施。(JBL との共同開催形式)

9. 第 2 次 A 級指名強化合宿

期日: 平成 20 年 9 月 6 日(土)~9 月 7 日(日)

場所: 東京都内

講師: 審判部指導委員会

参加者: 男性は第 1 次及び A 級強化合宿から選抜(14 名)

女性は女性審判強化合宿から選抜(3 名)

内容: 1 泊 2 日の強化合宿形式にて実施。ミーティングや実戦ゲームにより判定基準、ゲームコントロール等を度評価し、全員を AA 級審査会へ推薦。

10. AA 級審査会

期日: 平成 20 年 10 月 11 日(土)~10 月 12 日(日)

場所: 東京都内

講師: 審判部指導委員会

参加者: A 級審判からの選抜者(男性 14 名、女性 3 名)

内容: 第 2 次 A 級指名強化合宿からの推薦者が参加。1 泊 2 日形式にて実施し、実戦ゲームを通して技術の理解、ゲームコントロール等を評価し次期(平成 21 年度)AA 級候補者を推薦。(最終的に、男性 6 名のみを 21 年度新規 AA 級に推薦)

11. AA 級指名強化合宿(男・女)

期日: 平成 20 年 4 月 26 日(土)~4 月 27 日(日)

場所: 東京都内

講師: 審判部指導委員会

参加者: AA 級公認審判員から男性 6 名、女性 2 名

内容: AA 級公認審判員の中から次期国際審判員受験有資格者と平成 20 年度新規昇格者を指名し、審判技術の向上及び指導力の向上を目的とした講習会。

実技テスト、体力テスト、英文ルールテスト、英会話テスト、ミーティングを実施。(男性 2 名、女性 1 名を FIBA-ASIA レフェリークリニックへ推薦)

12. ヤングオフィシャルキャンプ・2008

期日:平成20年8月15日(金)~8月17日(日)

場所:埼玉県上尾市

講師:Tomas JASEVICIUS 氏(FIBA/リトアニア)、永田睦子氏(元日本代表・元シャンソン化粧品所属)

審判部指導委員会

参加者:全国から25歳以下の日本公認審判員40名(自費参加)

内容:全国の若手公認審判員を対象に早い段階での上級・国際審判員への動機づけを行うと共に、基本的な審判法、ルールの確認、審判員としての心構えを指導。埼玉県内高校チームによる練習試合の実戦他、英会話講義、英文ルール、Tomas JASEVICIUS 氏による講話。また団体生活を体験することにより、社会人としての生活ルール・マナー体得も目的とする。

13. 国際審判員研修会(兼トップカテゴリー研修会)

期日:平成21年1月3日(土)~1月5日(月)

場所:東京都内

講師:Romualdas Brazauskas 氏(FIBA/リトアニア)

審判部指導委員会

参加者:国際審判員を中心とした、AA級審判員

内容:「オールジャパン2009」の実戦ゲームによる実技研修、審判技術の向上及び判定基準、ゲームコントロールの確立。外国人講師及び審判部指導委員会、規則委員会による講義、DVD研修等で、日本のトップレベルの審判員としての意識・技術向上を目的とした講習会。

14. その他

(1)大会指導・評価活動

審判指導委員会によるインターハイ、ウインターカップ、国体、インカレ、オールジャパン等の国内主要大会での審判指導を実施。15年度より設置された評価委員会による、AA級審判員の公式戦(JBL、WJBL、インターハイ、国体、インカレ等)における評価(採点方式)の活動。

(2)海外派遣

各国際大会(北京五輪他)への審判・コミッショナー派遣、男女各カテゴリー代表海外遠征の帯同、ユーロリーグ系キャンプ審判派遣、FIBAやFIBA-ASIAから要請による指名審判・コミッショナー派遣、等を実施。

(3)日本協会主催大会における審判員派遣

国民体育大会、全国中学校大会、全国教員大会、全日本総合選手権大会等、国内における日本協会主催大会への審判員派遣。

(4)各ブロック・各都道府県からの講師派遣

各ブロックや各都道府県からのあった審判指導やT・O指導に関する講師派遣。

(5)改正競技規則書(ルールブック)・審判マニュアルの作成作業

規則部と連携し、「FIBA Basketball Rule2008」版の日本国内向けの競技規則書・審判マニュアルを作成。

(3) 公認審判審査

1. A級研修合宿（平成20年5月11日～平成21年2月15日）
全国10ブロック10会場で開催。
ブロックの審査委員は、関連するブロックの研修会に参加しA級審判の実状を観察する。
A級強化合宿へ推薦する候補者の資料を作成する。
2. A級強化合宿（A級フレッシュマン研修合宿）（平成20年4月26日～5月5日）
東京（トヨタ府中スポーツセンター）で実施。
今年度、A級に昇格した全国の審判の実状を把握する。
3. 女性審判強化合宿（平成20年7月18日～20日）
愛知県スカイホール豊田で実施
全国の女性審判の実状を把握する。
4. A級指名強化合宿（平成20年9月6日～7日）
AA級候補者の実状を把握し、審査等の資料とする。
5. A級審査会
全国10ブロック10会場で開催。
ブロックの審査委員長と審査委員及びブロック審判長とでA級審判の候補者を選出する。
6. AA級審査会（平成20年10月13日～14日）
東京で開催。
AA級候補者の評価を行う。
7. 審査委員会（平成21年1月4日～5日）
事業報告、事業計画等
昇格、降格の審査を行う。
8. 全国審判長会議（平成21年4月4日～5日）
審査規約と年間計画等の説明

6. 施設、用具の認定

用具・設備委員会

①検定工場会との合同委員会開催

FIBAルール改訂（2010年）に対する対応について、協議を重ね、集約した事項について、ホームページ（JABBA-NET）に掲載することとした。

7. 総務

昨年度以来の混乱が続き、役員選任・事業計画・収支予算について昨年度内での議決承認がされないまま、当年度になり、暫定的な予算での執行が続いた。

その為、円滑な運営は殆ど出来ない状態であったが、4月に入りJOCなどの指導もあり、4月末に役員選任・事業計画ならびに収支予算が承認され、新たな体制になり正常化を目指すことになった。しかしその後も新体制移行が遅れ、8月になり理事懇談会から、第一回の理事会が開催され、新体制が成立し正常化に取り

組むことになった。

以降、新役員体制を作り、事業報告・決算を承認し、特に寄附行為等規則の明確化、開かれた運営に取り組んで来た。

① 各種会議（理事会・評議員会等）の開催を行い、運営の正常化を図った。

04月26日（土）	臨時理事会
04月29日（火・祝）	臨時評議員会（役員選任・事業計画・収支予算等承認）
04月29日（火・祝）	臨時理事会（評議員会承認事項の決定）
08月10日（日）	新理事懇談会
08月10日（日）	第一回理事会（麻生会長、愛知副会長選出等）
08月22日（金）	第二回理事会（新役員決定・事業報告案収支決算案承認）
09月13日（土）	第一回評議員会（平成19年度事業報告収支決算承認等）
09月13日（土）	第三回理事会（評議員会承認事項の決定）
09月26日（金）	麻生会長の首相就任に伴い兼職届の提出と佐室会長職務代行就任）
10月15日（水）	第四回理事会（寄附行為等検討委員会設置の承認等）
11月12日（水）	第五回理事会（否認されていた小谷評議員の選任等）
12月16日（火）	第六回理事会（功労表彰者選出・理事会等の公開決定）
01月21日（水）	第七回理事会（寄附行為等答申案の承認、専任コーチの承認等） （この理事会からメディアに対して公開で開催された）
01月21日（水）	顧問会（顧問の皆様からご意見をお聞きした）
02月15日（日）	臨時評議員会（寄附行為・役員選考・評議員・役員定年等の規程変更の承認）
02月15日（日）	臨時理事会（評議員会承認事項の決定）
02月18日（水）	第八回理事会（会長選考委員の選出等）
03月07日（土）	会長候補者選考委員会
03月11日（水）	第九回理事会（21年度事業計画、収支予算等承認・21年度22年度会長に麻生太郎氏を選出）
03月21日（土）	第二回評議員会（21年度事業計画、収支予算等承認、麻生会長選出）
03月21日（土）	第十回理事会（評議員会承認事項の決定）
03月26日（木）	役員候補選考委員会
03月28日（土）	臨時評議員会（21年度22年度役員の選出）
03月28日（土）	臨時理事会（評議員会承認事項の決定）

② 都道府県協会・加盟競技団体をはじめ、日本体育協会、JOCなどとの窓口業務に取り組み、正常化推進の役割に努めた。

③ 混乱の中ではあったが、業務登録に関して事務局と一体となり取り進めた。

8. 広報

1. 記者発表

国内大会、国際大会について関係各位(特に男女強化部、事業部、国際部など)と協力し、女子日本代表チームオリンピック世界最終予選関連、U-18FIBA アジア女子選手権及びアジアビーチゲームズ優勝関連、FIBA 役員来日などの記者会見を実施した。

特に女子日本代表チームのオリンピック世界最終予選に関しては、オリンピック競技のうち、球技種目で最後の出場権獲得が懸かる大会ということでメディアの注目度は高く多くの露出がなされた。

2. プレス対応

女子日本代表合宿で公開練習日を設定して取材を受け付けた。また、各大会期間中の試合結果を迅速に各報道機関へ連絡し、テレビ・新聞・雑誌等への掲載拡大に努めた。女子強化部・企画部の協力のもと、女子日本代表の合宿・記者会見時に集合写真や個人写真を撮影し、報道関係からのリクエストに応じて配布。過去の記録の整理を行い問い合わせに対応した。

女子日本代表チームに広報担当者を帯同させ、国内合宿や遠征をはじめオリンピック世界最終予選の取材対応や結果報道を実施した。

国内大会では例年どおり、オールジャパン(全日本総合選手権大会)を中心に、ウインターカップ(全国高校選抜優勝大会)、女子代表国際招待試合を中心に対応を行った。

3. 広報支援活動

各大会への広報部員の派遣により、広報業務が円滑に進むように各組織と連携して業務の遂行に努めた。

国内大会では第27回全国ママさん交歓大会、第61回全国高校選手権大会、第38回全国中学校大会などへ広報部員を派遣した。

4. 広報部会・委員会の開催

広報部・委員会を組成しオールジャパン大会運営を中心に部員相互の情報の共有化を図り、各種大会の準備、担当者の決定等、円滑な業務遂行に努力した。

5. 理事会の公開

「理事会・評議員会の公開に関する規程」制定に伴い、平成20年度1月理事会より理事会が原則、公開開催となったため、東京運動記者クラブ加盟社および月刊バスケットボール、バスケットボールマガジンクリニックの両バスケットボール専門誌編集部へ理事会開催および公開の案内を配信した。

理事会においては記者用席を設置し総務部にて内容を精査の上作成いただいた報道機関向けの理事会資料を配布した。理事会終了後、理事会承認事項についてのレクチャーを実施した。

6. JABBA-NET の運用 (インターネット <http://www.jabba-net.com/>)

1997年にJABBA INTERNET (<http://www.jabba.or.jp/>)として準備・運用開始。

都道府県および加盟団体との連携で JABBA-NET で公式サイトを開設した公式サイトも着実に増加し、31都道府県協会と過半数の都道府県協会での利用が進んでいる。公式ウェブサイトのもつブランド力と情報提供のツールとしての有効性が認識され、今後のインターネット関連事業の発展の重要性を示していると考え

られる。

また、引き続き、全国の都道府県協会および加盟団体などと連携しバスケットボールのオンライン上での発展のため、専門家及び有識者の協力を得て運営していく。

<平成20年度ページビュー実績>

期間	総数	1日平均
2008/04/01-2009/03/31	6,808,956	18,655

9. 普及

<ミニ連盟>

1. ミニブロック大会

ミニバスケットボールの普及・発展と児童にバスケットボールの面白さ、喜びを与えると共に技術の向上を身につけてもらうことを目的に、各都道府県がそれぞれの立場でミニブロック大会を実施した。

<全国9ブロック>

- 北海道：(29回)8月1日～3日 北海道・旭川市、美瑛町
- 東北：(28回)2月28日～3月1日 宮城県・利府町
- 北信越：(28回)12月27日～28日 長野県・長野市
- 関東：(30回)1月10日～12日 栃木県・鹿沼市、宇都宮市
- 東海：(31回)12月27日～28日 静岡県・浜松市
- 近畿：(33回)3月7日～8日 和歌山県・和歌山市
- 中国：(28回)1月4日～5日 岡山県・岡山市
- 四国：(30回)8月23日～24日 愛媛県・伊予市、東温市
- 九州：(29回)1月10日～12日 鹿児島県・鹿児島市

2. 平成20年度ミニバスケットボール教室

期日：平成20年4月1日～平成21年3月31日

開催地：神奈川県(21.2.14-15) 埼玉県(21.3.20-21)

中央講習会・神奈川県横浜市(21.3.7-8)

<中学生連盟>

1 常任理事会

○期日・場所 平成20年6月28日(土) 台東区忍岡中学校会議室

参加者 連盟常任理事22名

- 内容
- (1) 全国中学生バスケットボール連盟の組織と活動(常任理事の変更)
 - (2) 事業計画の確認
 - (3) 全中新潟大会について
 - (4) 都道府県対抗ジュニアオールスター大会について

- (5) エンデバー、U-16強化について
- (6) FIBAルール変更について
- (7) 日本協会報告（評議員会報告、エンデバー計画、強化等）
- (8) 普及技術事業、審判技術向上の活動について
- (9) 登録の推進について

○期日・場所 平成20年11月29日（土） 台東区忍岡中学校 会議室

参加者 連盟常任理事22名

- 内容
- (1) 日本協会報告（理事会）
 - (2) 都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会について
 - (3) 各都道府県中学生連盟の設立と活動の状況とルール変更の問題点
 - (4) 登録に推進について
 - (5) 連盟への還元金について
 - (6) U-15エンデバー計画、U-16強化計画について

○期日・場所 平成21年3月27日（金） 東京体育館第3会議室

参加者 連盟常任理事22名

- 内容
- (1) 全国中学生連盟の今年度の活動報告
 - (2) 全国中学生連盟の来年度の活動計画
 - (3) 日本協会報告（理事会・評議員会等）
 - (4) 都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会について
 - (5) U-15エンデバー計画、U-16強化計画について
 - (6) 登録の推進について
 - (7) 審判部より講習会の報告

2 理事会 平成21年3月27日（金） 東京体育館第1会議室

- 内容
- (1) 全国中学生連盟の活動報告
 - (2) 全国中学生連盟の来年度の活動計画
 - (3) 日本協会報告、普及部中学委員会報告
 - (4) 都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会について
 - (5) U-15エンデバー計画、U-16強化計画について
 - (6) 登録の推進について
 - (7) 審判部より講習会の報告

3（財）日本中体連バスケットボール競技部と普及部中学生連盟との合同会議

○期日・場所 平成20年8月22日（金） ホテル日航新潟

参加者 連盟常任理事15名

- 内容
- (1) 日本中体連からの報告
 - (2) 日本協会報告
 - (3) 全国中学生連盟の活動についての説明
 - (4) 次年度の全国大会の確認

4 都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会帯同審判講習会

○期日・場所 平成21年3月27日(金) 東京体育館

5 優秀選手の選考(ベスト5)

○全国大会

期日・場所 平成20年8月23日(土)～25日(月)新潟市東スポーツセンター他

○ジュニアオールスター

期日・場所 平成21年3月28日(土)～30日(月)東京体育館ほか

<クラブ連盟>

1. H20年・11月～H21年・2月

第35回全日本クラブバスケットボール選手権大会ブロック予選会日程

・北海道ブロック	平成20年11月1日～3日	北海道帯広市
・東北ブロック	平成20年11月28日～30日	青森県八戸市
・関東ブロック	平成21年2月14日～16日	千葉県船橋市
・北信越ブロック	平成21年2月7日～8日	富山県黒部市
・東海ブロック	平成21年2月14日～15日	岐阜県岐阜市
・近畿ブロック	平成21年1月24日～25日	滋賀県大津市
・中国ブロック	平成21年1月24日～25日	鳥取県米子市
・四国ブロック	平成21年1月24日～25日	徳島県北島町
・九州ブロック	平成21年2月7日～8日	長崎県大村市

* 第4回全日本社会人バスケットボール選手権大会

平成20年11月2日(日)～3日(祝・月) 宮城県白石市(ホワイトキューブ)

* 第1回全日本シニアバスケットボール選手権大会兼

第1回全日本スーパーシニアバスケットボール交歓大会

平成20年11月23日(日・祝)・24(月) 群馬県前橋市

シニア・優勝 東京都(東京)

スーパーシニア・優勝 草加せんべーず(埼玉)

2. 平成20年度日本クラブバスケットボール連盟 常任理事会・理事会・委員会関係

平成20年5月24日(土) 大阪市東淀川区(新大阪丸ビル本館会議室) (常任理事会)

平成20年6月21日(土) 東京都新宿区(日本青年館) (理事会)

平成20年11月23日(祝・日) 群馬県前橋市(前橋アリーナ会議室) (臨時理事会)

平成21年3月20日(祝・金) 北海道札幌市(きたえーる会議室) (常任理事会)

平成21年3月21日(土) 北海道札幌市(きたえーる会議室) (各委員会)

3. 平成21年2月20日(金)

第35回全日本クラブバスケットボール選手権大会組合せ抽選会(北海道大会)

於 日本バスケットボール協会 岸記念体育会館会議室

日本バスケットボール協会:稲垣普及部長、松岡事務局長、弘田事務局員

日本クラブバスケットボール連盟:理事長、競技委員会、総務委員長、事務局長

開催権(北海道):真壁 修 北海道クラブバスケットボール連盟理事長

4. 平成21年3月19日(木)

平成20年度日本クラブバスケットボール連盟 審判講習会

・審判講習会 14:30~18:00 北海道立総合体育センターきたえーる

・ブロック審判委員長会議 18:00~ きたえーる会議室

5. 平成21年3月20日(祝・金)

第35回全日本クラブバスケットボール選手権大会(第1日目) きたえーる

・開会式・代表者会議 9:00~ きたえーる会議室

・審判会議 9:30~ きたえーる会議室

・ゲーム開始 10:30~ きたえーる

6. 平成21年3月20日(祝・金)

・全体審判会議 18:00~ きたえーる会議室

7. 平成21年3月21日(土)

第35回全日本クラブバスケットボール選手権大会(第2日目) きたえーる

・ゲーム開始 9:30~ きたえーる

・各委員長会議・ブロック会議 11:00~ きたえーる会議室

8. 平成21年3月22日(日)

第35回全日本クラブバスケットボール選手権大会(最終日) きたえーる

・ゲーム開始 9:30~ きたえーる

・表彰式・閉会式

・優勝(男子)はじめてまして(近畿1位・大阪府) (女子) LOWS(東海1位・愛知県)

大会終了・16:30

<家庭婦人連盟>

1. 全国大会

* 第27回全国ママさんバスケットボール交歓大会

期日 平成20年7月19日(土) 20日(日) 21日(祝・月)

場所 長崎県 長崎市 長崎県立体育館・他

* 第7回全国ゴールデンシニアバスケットボール大会(ねんりんピック協賛イベント)

期日 平成20年10月25日(土) 26日(日)

場所 鹿児島県 始良郡 蒲生町 蒲生町立総合体育館・蒲生中学校

2. 国際交流大会

* 日韓ママさんバスケットボール親善大会

期日 平成20年5月3日(土) 4日(日) 5日(月)

場所 韓国 ソウル市 チャムシル学生体育館

3. ブロック大会の支援・協力

* 第14回(山口杯)北海道家庭婦人バスケットボール連盟結成記念大会 (北海道・函館市)

* 第10回東北ママさんバスケットボール交歓大会 (青森県・十和田市)

* 第14回関東ママさんバスケットボール交歓大会 (山梨県・甲府市)

* 第10回北信越家庭婦人バスケットボール交歓大会 (石川県・小松市)

* 第6回東海ママさんバスケットボール交歓大会 (静岡県・静岡市)

* 第9回近畿女性バスケットボール交歓大会 (大阪府池田市)

* 第8回中国地区ママさんバスケットボール交歓大会 (岡山県・岡山市)

* 第7回四国家庭婦人バスケットボール交流大会 (愛媛県・新居浜市)

九州地区ママさんバスケットボール交歓大会は長崎県で全国大会開催のため開催せず

4. 普及事業

* 県連盟設立推進(現在42連盟設立) 九州地区の設立推進

5. 理事会・常任理事会・その他の会議

* 全国大会関係会議 準備会 平成20年4月19日(土)

抽選会 平成20年6月5日(土)

* 理事会 平成20年5月17日(土)

* 常任理事会 平成20年7月19日(土) 平成21年3月22日(日)

* 運営委員会 毎月1回

6. 外部団体との協力事業

* WJBLママさんバスケットボール教室

期日 平成20年8月5日(火) 場所 代々木第2体育館

* WJBL・JBL等の観客動員

<専門学校連盟>

■全国専門学校バスケットボール連盟理事会(第1回)

●日程: 平成20年6月7日(土) 東京都(大原法律専門学校)

●内容: 1. 第13回全国専門学校バスケットボール選手権大会(北海道)について

2. 第10回全国専門学校バスケットボール選抜大会(神奈川)について

3. 第12回全国専門学校バスケットボール選手権大会(広島)の状況報告

4. 平成 20 年度全国専門学校バスケットボール連盟予算案について
5. 各専門部の報告について
6. その他法人チーム構成等)

■全国専門学校バスケットボール連盟理事会(第2回)

●日程: 平成 20 年 8 月 19 日(火) 北海道(北海道立総合体育センター:きたえ〜る)

- 内容: 1. 南関東ブロック女子チームの違反について
2. 第 13 回全国専門学校バスケットボール選手権大会(北海道)について
 3. 第 10 回全国専門学校バスケットボール選抜大会(神奈川)について
 4. 第 12 回全国専門学校バスケットボール選手権大会(広島)の状況報告について
 5. その他(ホームページ開設等)

■第 13 回全国専門学校バスケットボール選手権大会(北海道)

●日程: 平成 20 年 8 月 19 日(火)~23 日(土)

●場所: 北海道:北海道立総合体育センター(きたえ〜る)

	男子チーム	女子チーム
優勝	アップルスポーツカレッジ	大阪社会体育専門学校
準優勝	専門学校尚学院国際ビジネスアカデミー	東京リゾート&スポーツ専門学校
第3位	日本ウェルネススポーツ専門学校	大阪リゾート&スポーツ専門学校

■全国専門学校バスケットボール連盟理事会(第3回)

●日程: 平成 20 年 10 月 18 日(土) 神奈川県(横浜中央 YMCA)

- 内容: 1. 第 13 回全国専門学校バスケットボール選手権大会(北海道)について
2. 第 10 回全国専門学校バスケットボール選抜大会(神奈川)について
 3. 第 14 回全国専門学校バスケットボール選手権大会(仙台)について
 4. 第 11 回全国専門学校バスケットボール選抜大会(南関東)について
 5. 第 12 回全国専門学校バスケットボール選手権大会(広島)について
 6. 連盟規約について(個人登録費用についての規約を追加)
 7. その他(今後の開催地区、開催年度等)

■全国専門学校バスケットボール連盟理事会(第4回)

●日程: 平成 20 年 12 月 16 日(火) 神奈川県(ロワジュールホテル厚木)

- 内容: 1. 第 10 回全国専門学校バスケットボール選抜大会(神奈川)について
2. 第 14 回全国専門学校バスケットボール選手権大会(仙台)について
 3. 第 11 回全国専門学校バスケットボール選抜大会(南関東)について
 4. 第 12 回全国専門学校バスケットボール選手権大会(広島)について
 5. その他(九州ブロックの加盟・JBA からの助成金・名刺の配布等)

■第10回全国専門学校バスケットボール選抜大会(神奈川)

●日程: 平成20年12月16日(火)～19日(金)

●場所: 神奈川県 海老名市運動公園総合体育館

	男子チーム	女子チーム
優勝	沖縄ブロック選抜チーム	東京ブロック選抜チーム
準優勝	東京ブロック選抜チーム	関西ブロック選抜チーム
第3位	北信越ブロック選抜チーム	神奈川ブロック選抜チーム

■全国専門学校バスケットボール連盟理事会(第5回)

●日程: 平成21年3月28日(土) 大阪府(修成建設専門学校)

- 内容: 1. 第10回選抜大会の報告
2. 平成20年度事業報告
3. 平成20年度会計中間報告
4. 平成21年度事業計画について
5. 第12回選手権大会の近況報告

10. 企画(企画)

1. 寄附行為等検討委員会

- 1)20年11月12日の理事会において、「寄付行為等検討委員会」の設置が認められた。目的は先般の大きな混乱を招いた原因でもある寄付行為その他関連規程の見直しを図り、組織運営をより円滑に行う為。
- 2)メンバーは、理事総務部長が委員長、以下監事2名・評議員3名・常任委員1名・事務局長・顧問弁護士の合計9名により構成された。
- 3)委員会は第一回 11月21日 第二回 11月29日 第三回 1月11日 第四回1月12日に開催された。その間 12月1日 1月19日に文部科学省との打ち合わせを行った。
- 4)12月16日理事会において中間報告をし、理事のご意見等頂いた。
- 5)1月21日理事会において、最終的に委員会案を提案し承認を得た。
内容は、①寄付行為
②定年制に関する規程
③役員選考に関する規程
④評議員選出に関する規程
- 6)2月15日臨時評議員会において承認された。その後一部、監督官庁との交渉により変更部分があった。
- 7)平成21年3月13日付けで「寄附行為」の変更について文部科学大臣より認可された。

2. バスケットボール トップリーグのあり方検討委員会

- 1)平成20年11月12日開催の理事会に於いて「バスケットボール トップリーグのあり方検討委員会」の設置が承認された。
- 2)委員として関係団体の代表4名(JBL、bjリーグ、WJBL、実連)、学識経験者の代表2名、日本協会理事会からの代表4名、合計11名により委員会は構成された。

委員長には日本協会 深津副会長が就任し、第1回の委員会は12月17日に開催。平成21年3月までに合計4回委員会を開催した。

3)委員会の下にワーキンググループを置き、平成21年3月までに7回ワーキングを開催した。

4)平成21年3月11日開催の理事会及び3月21日開催の評議員会に、委員会としての「経過報告」を行った。

11. 企画（事業）

1. <<日本代表関連・国際大会>>

バスケットボール女子日本代表国際招待試合

・2008年北京オリンピックに向けた女子日本代表選手強化に貢献するために開催した。

5月18日（日）13：00～ @国立代々木競技場第二体育館

日本代表 66-63 リトアニア代表

2. <<大会関連・国内大会>>

①JOMOウインターカップ2008 第39回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会

・開催概要 開催場所：東京体育館メインアリーナおよびサブアリーナ

大会期間：12月23日（日）～12月29日（土）

- ・「全96試合テレビ放映の実現」と「入場料金の改定」という大きな変更を行い、1988年に12月開催となって以来、これまでにない大きな変革の大会となった。
- ・全試合テレビ放映実現に向け、株式会社ジェイ・スポーツ・ブロードキャスティング（以下、J SPORTS）との交渉を担当し、無事全96試合放映を実現することができた。男子準々決勝以降および女子準決勝以降についてはライブ放送を実施した。
- ・会場運営においては、全試合テレビ放映に伴うメインアリーナ3面体制や、サブアリーナに仮設スタンドを設置し観戦環境を充実、メインコートでのT O席・ベンチの位置変更、役員・選手・観客の導線確保など新たな試みを実施した。
- ・20年来据え置いてきた入場料金の改定を実施し財政面での安定化を図った。入場料金改定に伴い入場者数の大幅な減少も懸念されたが2007年、1998年に次ぐ過去3番目となる40,145人（前回比-4,267人）の来場者を記録し入場料収入は見込みを大幅に上回る結果となった。
- ・次回大会に向けて、常に満員の観客が入った状態で出場チームに最高のプレーをしていただけるよう運営に努力するとともに、テレビ放送規模拡大など新たな取り組みに着手し大会全体を発展させる方策を検討する。

②第83回天皇杯第74回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会（オールジャパン2008）

・開催概要 開催場所：東京体育館（1～3回戦）、国立代々木競技場第一体育館（準々決勝以降）

大会期間：2008年1月1日（火）～1月14日（月・祝）

- ・メイン会場を国立代々木第一体育館としたため支出増となったが、有料入場者は前回大会を2,308人上回る28,890人を記録。入場料収入は921万円増となった。

- ・次回A J 2 0 1 0は東京体育館+代々木第1体育館で1月2日からスタートを予定しており引き続き観客動員計画を練り集客努力を続けるとともに参加チームに最高のプレーの場を提供することを目標とする。

《事業の構築》

①マーケティングシステムの確立

オフィシャルスポンサー、オフィシャルサプライヤー、サポーターティングカンパニーなどマーケティングスキームの確立を目指し下記整備を行った。

- ・日本代表チームのロゴマーク、エンブレムなどの整備と運用
- ・日本代表チームの肖像権などの整備と運用
- ・登録競技者の肖像および開催大会の映像使用などの整備と運用の準備

②日本代表チームのコンテンツ価値向上

日本代表チームのコンテンツ価値を高め、新しいビジネス機会を創出する活動を行った。

- ・日本代表チームのエンブレム・ロゴの開発
- ・日本代表チームのマーケティングプログラムの実施
 - 女子日本代表オフィシャルパートナー：(株)ジャパンエナジー
 - オフィシャルサプライヤー：男女共通 (株)アシックス
 - サポーターティングカンパニー：男女共通 (株)モルテン
 - サポーターティングカンパニー：男女共通 日本航空
 - サポーターティングカンパニー：男女共通 セノー(株)
- ・国内で開催した日本代表戦でのエンブレム・ロゴおよびスポンサーの露出拡大

③JBA主催各種全国大会への事業的な取り組み。

- ・JBA主催各カテゴリーにおける『全国大会』のマーケティング運用について検討した。
- ・オールジャパン、ウインターカップをメイン事業と位置づけ運営面、収益面の改善を図った。

④マスコミ対策の強化

- ・男女日本代表チームの活動概用記者会見の実施。(強化部・広報部と連携)
 - 日本代表チームの価値を高めるため、活動状況の定例的・集中的リリースを行うため広報部と協力体制をとった。

以 上